

ヒーローリアリティー

導入	クエリー	発展	通常	クエリー	チャレンジ		決戦	余韻
事務所にて	立ち位置	A	チョコバー	応募用紙	サイドキック	ヒーロー	UFO タコ男爵	アクセル P
		B						

初期グリット 3 クエリー 2 チャレンジ 2 リトライ 2

■導入(全員参加)「事務所にて」

G6の事務所から何か話し声が聞こえてくる。

「ヒーローじゃなくて単なるパワーのある傭兵みたいなイメージですかね？」

何となく聞き耳を立てていると話さうだ。

先日、街中にヴィランが現れてヒーローと戦闘になったのだが、たまたまヴィランがそこそこイケメンだったらしい。結果、市民が誤ってヴィランのほうを応援し始めたのだという。これにはヴィランも相当戸惑ったそうだが、ヒーローのほうは意に介さず、市民を守るそぶりもなく淡々とヴィランを倒し、警察がヴィランを逮捕しに来た段階でやっとどちらがヒーローだったのか市民が気付いたとそういう流れだったそう。しかし、最後まで事件を目撃しなかった一般市民の中には、ヒーローを一方的に倒したヴィランがいると誤った情報が流れ、後日、G6が必死で訂正して何とか収まったとそうした経緯だそう。

『力のなき民衆を悪から守る』って言葉にすれば簡単ですが、実際のところスローターと戦って生き残ったら、その日から全員が『そうなる』って訳じゃないですからね。」

「確かに軍人の中にも当然生き残りはいたからな。G6に登録されてるってだけで、ヒーローと言うより…」

ふと気付くとかなりのヒーローが事務所の中から見えない場所で聞き耳を立てている。

「あれですか？さっきの『傭兵』ってやつですか？」

「もっと言うと戦闘員？だって相手がヴィランだったら、殺さなきゃ何してもいいわけだからさ。」

「でも、この前、パワーのない一般人をヴィランだと勘違いして間違えてビーム当てちゃって大変だったじゃないですか。」

聞き耳を立てていたヒーロー全員が心の中で「あいつだ」と顔を思い浮かべる。そう、あいつだ。

「あの件の後始末、ぶっちゃけヴィラン倒すより大変じゃなかったですか？」

「バカ、誰か聞いてたらどうする！」

ヒーローたちは持ち前の運動神経や能力で蜘蛛の子を散らすように隠れた。

■クエリー「立ち位置」

あなたはG6の施設の廊下を歩きながら、考えた。

(ヒーローに「見えない」ヒーローがいる…あの人のことだろうか？自分自身は？)

自分がこれまでに叫んだ言葉や行動を思い返してみよう。確かに悪と戦ってきたが守られている民衆は自分のことをヒーローだと思えるだろうか？廊下の壁に地域の商工会議所から寄贈された大きな長方形の鏡が貼ってある。映る姿を見ながら考える。一般市民にとって自分はヒーローに

クエリー：見えているだろう→発展 Aor 見えていないだろう→発展 B

「見えているだろう」PCはその根拠を独り言として呟いてください。ロールプレイが必要です。

「見えていないだろう」PCはロールプレイしてもよいですが無言でもかまいません。

■ 発展 A

とりあえず、自分に関してはヒーローと振舞っているつもりだ、しかし、パワーを持っていて、G6 に所属していて、ヴィランと戦っていたら全員ヒーローだと考えていた気がする。そう考えると、これまで G6 の他のメンバーに無茶な期待をしていたのではないかと思えてくる。

■ 発展 B

(それは私のことではないか！)

もしかするとこれまでも相手がヴィランだからと調子に乗って暴れているだけの人間だと…そんな風に自分は見えていたんじゃないだろうか？

むしろ、ヒーローがお膳立てしてくれた戦場に呼ばれてパワーをぶっ放しているだけの存在なのではないか？
そう考え始めると、これまでの自分の生き方に疑問すら生じる。

■ 通常

そんなことを悶々と考えていると、レインボーブリッジ上空に UFO が現れたと情報が入る。急いで中央作戦室(食堂)に向かうと何人ものヒーローがテレビの映像に群がっていた。PC 達は

(この中にも何人かナンチャッテヒーローが混じってるんだよな…)

などと邪念を振り払えずにテレビを覗き込むが、そこから甚く気の抜けたデザインのヨーロッパの貴族風のいでたちのタコのような生き物が降りてきた。

「地球の皆様！ワタクシ！UFO タコ男爵ですタコ！私たちの世界に美味しいチョコレートバーを届けるために地球の質量を頂きに参りましたタコ！」

そう言って、謎の光線をレインボーブリッジに放つとレインボーブリッジが消滅した。

「なに！？」

テレビの前の誰かが声を挙げた。かわりにザラザラと音を立ててレインボーブリッジだったところから海に向かって包装されたお菓子が落ちていく。恐らくチョコレートバーなのだろう。

「そうれ回収ウタコ！！」

タコ男爵が掛け声をかけると、小さなタコが掃除機のようなものを構えて UFO から飛び出し、チョコバーを回収していく。「ターコタコタコ！ターコタコタコ！」と高笑いするタコ男爵のアップから画面は唐突に切り替わった。ディレクターチェアに座るサングラス&ポロシャツの男は顔面が鉄製のようだ。

「地球の皆様、このたびは大変な事になってしまいましたね？ワタクシは TV ショー次元イチのプロデューサー『アクセル P』です。TV ショー次元は皆様から見ると『異次元』と呼ばれる場所です、先ほどの UFO タコ男爵はワタクシの番組『ヒーローリアリティーどきどきチョコレート大作戦』に出てくる悪いヤツです。UFO タコ男爵の今回の目的は『地球の全質量をチョコレートバーにして TV ショー次元の視聴者のキッズたちに配る』事です、これは地球の皆様には少し困った事ですね？地球の全質量をチョコレートバーにされてしまったら、家もペットのエサも全部チョコレートバーになってしまうということです。ここで番組からとっても耳寄りなお知らせです。地球を代表するヒーロー 1 人とその仲間チームを作って応募していただき、オーディションに合格すれば UFO タコ男爵と戦う権利が得られます。そして UFO タコ男爵に勝つことが出来れば地球は救われる仕組みです。オーディションは…」

G6 の職員が一枚の紙を持ってきた。

「こいつが送信されてきた」

■ クエリー

それは応募用紙だった。

応募要項にはチームは何人ずつでもいいがヒーローとサイドキックで構成しなければならないと書いてある。

そして、ヒーローのみサイドキックのみのチームは禁止だそうだ。

さらに添付文書にはヒーローに求める人物像とサイドキックの属性一覧が書かれていて該当しないキャラクターは番組では採用できないと書かれている。

「添付文書」

ヒーローに求める人物像

・子供が親しみやすい見た目で、正義感が強く、残虐な技を使わない、ハキハキと受け答えの出来る人物。

採用できるサイドキックの一覧

- ・ヒーローの優秀なペットで見た目は動物や着ぐるみ
- ・子供番組の範疇に収まるセクシーなキャラクター
- ・ヒーローに助言できる年配のベテラン
- ・場の緊張を和ませる楽天的でコミカルな人物
- ・視聴者の子供たちが共感しやすい少年や少女
- ・小鳥に好かれる無骨な巨漢
- ・変な喋り方のロボットか宇宙人
- ・面倒見が良い食いしん坊
- ・スピリチュアルで奇抜な格好のキャラクター
- ・戦闘以外でも一芸に秀でたサエない中年
- ・見るからにモテないメガネの発明家
- ・金持ち自慢のボンボンかお嬢様

※以上の内、複数を無理なく満たすキャラクター歓迎！

※双子設定以外でのキャラかぶり禁止！

一同、呆然としながら用紙を見るが、相手はレインボーブリッジを一瞬でチョコレートバーに変換するようなヤツだ。正面から行くしかない。PC達は自分たちは「誰がどこのキャラクターにはまり込むべき」か話し合う。

応募要項に応えるチームの体裁を整える事に成功したらクエリー成功。次のチャレンジへ。

■チャレンジ「サイドキック」

オーディション会場は東京のテレビ局が提供させられていた。書類審査を通過しているPC達はオーディション会場の入り口で落ち合うがそこにG6のスタッフが立っていた。

「やばいですよ！ウチのヒーローほとんど書類で落ちちゃって！皆さんが落ちるとともに戦えそうなヒーローもういません！」

焦るG6の職員をなだめて会場に入ると、見るからに特殊そうなカメラが設置されている部屋にアクセルPのホログラムが座っていた。

「あー、何人か見た目がいまいちだな。ちょっとメイクさんなんとかして。」

すでにキャラが立っているPCを除いて、ヒーローはムキムキのスーツに、サイドキックたちもリストにあった各キャラクターが際立つ見た目に変更されてしまう。

- ・ヒーローの優秀なペットで見た目は動物や着ぐるみ→ケモノ感アップなど
- ・子供番組の範疇に収まるセクシーなキャラクター→化粧がケバク、衣装が過激など
- ・ヒーローに助言できる年配のベテラン→男性ならヒゲ、顔のシワが増加、葉が汚れる、白髪を増やす、男性ならハゲなど
- ・場の緊張を和ませる楽天的でコミカルな人物→靴の先端が尖って上向きに、歯は白くされるなど
- ・視聴者の子供たちが共感しやすい少年や少女→ボトムはショートパンツに、少年はベースボールキャップ、少女はみつあみおさげなど

- ・小鳥に好かれる無骨な巨漢→小鳥を貸し出されるなど
- ・変な喋り方のロボットか宇宙人→ロボットはドラム缶に近い擬装に、宇宙人は肌の色を適当に塗り替えられるなど
- ・面倒見が良い食いしん坊→謎のリュックサックを背負わされ、太った容姿、チョコレートバーを持たされるなど
- ・スピリチュアルで奇抜な格好のキャラクター→怪しい占い師のような服装にされ、男性は大きなヒゲ、女性は謎のペイント
- ・戦闘以外で一芸に秀でたサエない中年→全身ジャージか、よれよれのトレンチコートと無精ヒゲ、女性ならエプロンに三角巾など
- ・見るからにモテないメガネの発明家→よれよれの白衣にゴーグルなど
- ・金持ち自慢のボンボンかお嬢様→男性は3ピースで半ズボンに蝶ネクタイ、女性はレースの日傘に謎のドレスなど

「おー、いいじゃないか、いいじゃないか。地球を守るヒーローとサイドキックっぽく見えるぞ！それでは実際にやってみよう！」

まずはそれぞれのサイドキックがキャラが立っているか、サイドキックごとに異なるシチュエーションでフィルムチェックをする事に。

このとき複数のキャラクターにまたがるサイドキックは、自身のキャラクターから任意のチャレンジを選べる。

▽ペット属性のチャレンジ

ヒーローが敵に捕らわれている。それを助け出すときに任意のパワーで判定して助け出しながら一言。但し、語尾にはケモノっぽい何かをつける。

▽セクシー属性のチャレンジ

敵のメカに大きな手で掴まれた。それを任意のパワーで判定して脱出しながら一言。

▽ベテラン属性のチャレンジ

脱出する敵の幹部の退路に任意の技能かパワーの判定で先回りする事に成功する。敵の幹部が「くそ！なぜここに！？」と言うのに対して一言。

▽コミカル属性のチャレンジ

絶望的な戦いに望むヒーローチームを前に、気の利いた一言を言った後に「生存」「心理」「交渉」のいずれかで成功。さらにその後コミカルに一言。

▽少年少女属性のチャレンジ

落ち込むヒーローに対して、「大人になったらあなたみたいになりたい」と言うような言葉で励まし、任意のパワーで判定し成功。

▽巨漢属性のチャレンジ

街の交番に出来たツバメの巣にスリップしたトラックが突っ込みそうだ。「○○！？」と声を発して、任意のパワーを使いながらさらに「○○ー！！」と叫ぶ。ツバメの巣を守ったのち、「○○、○○」とトラックの運転手とツバメ、そして警官を安心させる。この際、○○は「フンガ」「ダス」など言語ではない謎の声。

▽ロボ or 宇宙人属性

交差点が渡れない老女を任意の技能かパワーで判定して交差点を渡らせる。その間、謎の口調で喋り続ける。

▽食いしん坊属性

スーパーにお気に入りの食べ物を買いに入ろうとしたら、謎のヘンチマンが根こそぎ奪って逃走するところだった。任意のパワーでぶっ飛ばしながら、怒りの一言を。

▽スピリチュアル属性

敵を追いかけしていると通路は右と左に分かれている。精神か環境の任意の技能で成功した後、謎のミステリアスな格言を言って納得させる。

▽サエない中年属性

敵に追いかけれながらそれを振り払おうと任意の判定で失敗する(成功してはいけない)。そして何かサエない一言を言う。

▽非モテ発明家

非力な少女を連れて敵の追っ手から逃げながらも少女に自分の発明品の解説を試みる。しかし、途中で敵に攻撃されてしまい、あわてて反撃。これを任意のパワーで判定。成功して倒した後に、少女か敵に何か一言。

▽お金持ち属性

財界の大物が集まるパーティーにゲストとして招待された君は、ヘンチマンたちの襲撃を受ける。任意のパワーで判定し撃退した君は自分の服やパーティー会場の受けた損失について一言。

■チャレンジ「ヒーロー」

次にヒーローはサイドキックの助けを受けながら最後のパワーの判定にだけ成功すればよい。

バスに乗った子供たちを庇いながら困難な戦いを強いられるヒーロー。
高架橋の上でバスは立ち往生している。

「ほうらほうら、子供が泣いてるぞ」

バスのガソリンがもれている危機的状況の中、バスを庇いながらヴィランの攻撃をしのぐので精一杯だ。

▽チャレンジ「子供を落ち着かせて誘導しバスから降ろせ」

「心理」or「交渉」で判定

担当したサイドキックは子供をバスから逃がした事をヒーローに伝えること。

バスから降ろして子供たちを離れさせたが、高架橋自体もそう長くもちそうにない。

▽チャレンジ「クレーンを使って高架橋をもたせろ」

「操縦」orいずれかの「環境」技能判定

「操縦」で判定した場合は自身がクレーンを操作、「環境」の場合は重機をチャーターしたなどヒーローに声をかける。

「くそ！邪魔な連中め！こうなったら橋ごと爆破だ」

悔しがるヴィランは懐からスイッチをとりだし、ヘリで逃亡しようとする。

▽チャレンジ「スイッチをどうにかしろ」

いずれかの狙撃系のパワーや移動系のパワーなどでスイッチを破壊するなり、奪い取るなりしよう。

成功したらヒーローに「今だ」的な声をかけヒーローの攻撃を促そう。

▽チャレンジ「ヴィランをぶっ飛ばせ」

ヒーローは任意の攻撃属性のパワーで判定する。

それぞれ成功するとアクセルPは満足なようだ。

「このチームならば十分、視聴率が稼げるかな？」

■決戦

決戦はレインボーブリッジ跡地に係留されているタンカーの甲板の上になった。

UFO タコ男爵「地球の質量、ゼーんぶもらっタコ！ゼーんぶチョコバーにしちゃうタコ！！ターコタコタコ！！」

▽この戦闘では毎ラウンド、行動順ロールの直後にちょこちょこタコ坊主が、サイドキックと同じ数追加されます。この追加数はGMの任意の数を設定してかまいません。

ヴィラン「UFO タコ男爵」 移動適正:地上、宇宙

<p>能力値 肉体:20 精神:10 環境:20</p>	<p>エネルギー ライフ:30 サニティ:40 クレジット:10</p>
<p>・「カット！」 属性:強化 判定:- タイミング:永続 射程:- 目標:自身 代償:なし キャラに合った台詞を伴わない攻撃を無効化する。</p>	<p>・スミツボ爆弾 属性:攻撃 判定:- タイミング:行動 射程:特殊 目標:1d4 の出目以下のエリア全て 代償:ターン 20 エリア内の名前に「タコ」が入っていない全ての対象に 1D6+1 のショック</p>
<p>・サイドキック耐性 属性:強化 判定:- タイミング:永続 射程:- 目標:自身 代償:なし サイドキックの攻撃でライフを 14 以下にされる事がない。</p>	<p>・タコ腕リアット 属性:攻撃 判定:- タイミング:行動 射程:2 目標:1 エリア 代償:ターン 4 対象は運動+40%に失敗すると 3 のダメージと 2 のショックを受ける。</p>
<p>・身代わりタコ坊主 属性:強化 判定:- タイミング:永続 射程:- 目標:ちょこちょこタコ坊主 代償:なし 攻撃かパワーの対象に選ばれたとき、戦闘エリアにちょこちょこタコ坊主が 1 体以上存在していれば、パワーの対象を任意のちょこちょこタコ坊主に変更し、自身は対象から外れる。このパワーは範囲がエリアの場合でも同様に対象から逃れる事が出来る。</p>	

ヘンチマン「ちょこちょこタコ坊主」

<p>肉体:精神:環境:10 ライフ:サニティ:クレジット:3 移動適正:地上:水中:飛行:宇宙 行動順は 6 に固定</p>	<p>・「カット！」 属性:強化 判定:- タイミング:永続 射程:- 目標:自身 代償:なし キャラに合った台詞を伴わない攻撃を無効化する。</p>
<p>・煙幕 属性:妨害 判定:50% タイミング:特殊 射程:- 目標:自身 代償:- 範囲攻撃の目標に選ばれると 50%の確立で対象から外れる。</p>	<p>・スミ鉄砲 属性:攻撃 判定:- タイミング:行動 射程:3 目標:1 体 代償:ターン 7 目標が運動+20%で失敗するとダメージ 2 ショック 1 を受ける。</p>

■余韻

UFO タコ男爵「この借りは来週、また他の宇宙で返すタコー！！」

UFO タコ男爵はそういうと UFO に乗って去った。PC 達はロールプレイをしてもよい。

アクセル P「さて、今週も強いヒーローたちのいる惑星を襲ってしまい UFO タコ男爵の 0 勝伝説は継続中！いつかテレビの前のみんなにタダでチョコバーが配れる日が来るのでしょうか？タダじゃなくても UFO チョコレートバーは皆さんの街のお店にきっと置いてあります！美味しい美味しい UFO チョコレートバーをよろしく！！さて来週は…地面の中にエメラルドがごろごろ埋まってるこんな惑星に UFO タコ男爵がいたずらしちゃいます！乞うご期待！」

どこからか「ハイ OK」と声が聞こえる。

アクセル P「なんだ、そんな顔をしなくてもいいじゃないか？子供向けの番組で本当に文明の存在している惑星を消し飛ばすわけがないだろう？レインボーブリッジだって通行止めにして誰にも被害が出ないように消すの大変だったんだよ？レインボーブリッジで作ったチョコバーはお近づきのしるしに地球の皆さんに配っていこう。」

PC 達は適当に返答をしてよい。

アクセル P「我々はそろそろ次の空間に移動するけれど…この宇宙にはディセミネイターがまだいないようだ。宇宙を崩壊させたくなかったらヒーローはヒーローらしく、サイドキックはサイドキックらしくあり続ける事が重要だよ。ヒーローは結局、ヒーローを信じる人間がいなければパワーがあるだけの役立たずなんだ。」

そう言ってアクセル P のホログラムは消えてしまった。